



なつめ 10月号

〈編集・発行〉
鹿児島市立喜入小学校
〈発行日〉
令和3年10月29日

実りの秋に

校長 内村 英人

令和3年度も後半に入りました。気候もよくなり、昼間は暑さが残っていますが、朝夕は、めっきり涼しくなっています。

校庭の掲示板には、秋をテーマにした絵や言葉を掲示しています。校庭のなつめの木は、赤い実をつけています。飼育舎周りのギョボクの葉には、ツマベニチョウが卵を産み、幼虫が育っています。5年生が取り組んでいる稲作体験も、たわわに実った稲の刈入れが終わりました。自然界は、実りの秋。子どもたちの学びも、実り多い秋にしたいものです。



【校庭の掲示板】



【なつめの実】



【ツマベニチョウの卵】

スポーツの秋。

子どもたちの朝のランニングが始まりました。新型コロナウイルスの影響で、これまで十分にできなかった体力向上の取組も、気候がよくなった今、本格的に取り組み始めました。体力と気力を向上させるために、長期にわたって努力する取組です。目標をもって、粘り強く走り続ける姿を期待しています。



読書の秋。

今、校内読書月間中です。「読書の木」「読書の実」



「読書感想画」「読書標語」「ポップ作り」「本の帯づくり」「読書通帳」など、様々な読書活動を通して読書に親しませます。現在、一人当たりの図書貸し出し冊数の平均は、1年生65冊、2年生93冊、3年生37冊、4年生48冊、5年生35冊、6年生35冊で、各学年の目標とする読書量に対して半分といったところです。

勉強の秋。

授業においては、本校の研究テーマである「見方・考え方を働かせて、深く学ぶ子どもの育成」を目指して、各学級で、テーマに迫るための授業実践が始まっています。子ども自身が課題を見出して、質問したり、説明し合ったりして、納得いく答えを創り出す姿が理想です。

10月と11月は、1年間の中でも学習の充実期。子どもがぐんと伸びる時。そう捉えています。さわやかな風が教室に入る今、自分なりの実りを実感する秋にしたいと思います。

抵抗力を高めましょう（十分な睡眠）
適度な運動
バランスのとれた食事